

認定権者記載欄		

様式第5—(ハ)—①

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(ハ—①)								
		令和 年 月 日						
秩父市長 殿	申請者							
	住所	_____						
	氏名	_____						
<p>私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、_____ (注2) により _____ (注3) の増加が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。</p> <p>(表)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※表には営んでいる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載(当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>月平均売上高営業利益率の減少率 $\frac{(B-A)}{B} \times 100$ 減少率 _____ %</p> <p>A：申込時点における最近3か月間の月平均売上高営業利益率 _____ 円(注4)</p> <p>B：Aの期間に対応する3か月間の月平均売上高営業利益率 _____ 円(注4)</p>								

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注2) _____には「外的要因」を入れる。

(注3) _____には「増加している費用」を入れる。

(注4) 申請者全体の月平均売上高営業利益率を記載。

(注5) 本葉とは別に、円高の影響による経営の安定の支障について具体的な内容を記載した書面を添付。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

第 号 令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで

秩父市長 清野 和彦